

かまた礼二の議会だより

第5号

2010年10月05日発行

発行者

塩竈市議会議員 鎌田礼二

〒985-0077 塩竈市梅の宮 1-26

・TEL & FAX 022-365-9626

・mail kamata02@c-marinet.ne.jp

三島善治『かまた礼二後援会』会長挨拶



『かまた礼二の議会だより』第5号発行にあたり後援会の代表といたしまして一言ご挨拶を申し上げます。

二回目の挑戦で皆様の多大なるご支援とご声援を頂き当選させて頂いてから早三年半になりました。一年生議員でありながら会派の期待は大きく議会での質問から議会運営と多面に亙り活躍されておりますことは皆様周知のことと存じます。

配布の議会だよりをよくご覧になり、より一層鎌田礼二議員に深いご理解とご協力をお願い致しますご挨拶と致します。

塩竈市議会議員はポストマン・・・！

『かまた礼二の議会だより』も第5号となりました。

2007年の6月定例議会より一般質問も11回目となりました。特に2008年の12月定例議会からは毎回連続で質問をさせていただいております。

この一般質問は質問とはなっておりますが単なる質問ではなく、行政への「問題の提起」と「提言」が主体的なものです。また、この一般質問に使われるものは『かまた礼二の議会だより』配布の際に意見を寄せられたものがほとんどです。

『かまた礼二の議会だより』は、半年に1回の割で発行しており、市内北部を中心に10,000世帯を一軒一軒歩き私の手で配布をしております。今後も連続で質問をして参りますので、これからもご意見をお寄せ下さいませようお願い致します。

ホームページとブログを開設しました。

市議会議員として如何に市民の声を聞くことが出来るか。如何に市民の声を議会に伝えることが出来るか。如何に結果を市民に報告出来るか。このことは市議会議員として当然のことです。

議会だよりの発行や議会報告会等を開催しておりますが、少しでも多くの市民の皆さんから声を

寄せていただくため、私の活動を理解していただくためにホームページとブログを開設しました。

◎ホームページ『かまた礼二市議会議員』

◎ブログ『鎌田礼二の議員日記』

この「かまた礼二の議会だより」もパソコンでご覧になれます。いずれも「鎌田礼二」で検索いただければ直ぐにご覧になれます。ご意見や提言、コメント等をいただければ幸いです。

『かまた礼二の議会報告会』を開催致します。

今年の「議会報告会」を次の通り開催致します。多数の皆様の参加をお願い致します。

◎開催日時 11月14日(日)12:00～15:00

◎報告会場 少林寺拳法塩竈道院(鎌田礼二宅下の道場：長沢郵便局向い)

◎会費 男性:2,000円 女性:1,500円

◎申し込み 上記連絡先へ(11月8日までに)



来年の選挙から議員定数が変わります。

9月定例議会の最終日に議員定数が3名削減され21名から18名になることが、賛成多数で議決されました。反対者は6名(共産党:5名、社民党:1名)でした。もちろんニュー市民クラブは私も含め全員が賛成しました。

定数削減については、市民大多数の方が賛成だと思います。私は上位当選ではありませんが、市民の意をくんで私も賛成しました。削減に賛成して落選では何の為に賛成したかわかりません。市民の皆様お一人お一人が、来年の統一地方

選挙でもご支持いただきますようお願い致します。もちろんお願いだけではなく、市民一人一人のために今後も一生懸命頑張ります。



今年10月 二市三町議員研修で佐藤昭市長と

平成22年2月議会・市政方針に対する質問

① 施政方針全般について

佐藤市長は、2期目最終年となるわけで、3期目に向け、思い切った施策を打ち出すのではと期待をしておりましたが変わり映えがしません。目玉は何なんでしょうか。

② 魚市場と塩釜港の方向性について

魚市場の水揚げ高は減少が続き、今期の魚市場会計も一般会計からの繰り入れを行う事態となりました。

市長は施政方針で“メバチマグロのブランド『三陸塩竈ひがしもの』は、全国的にも評価が高い。この取り組みをさらに強めるとともに、水揚げ漁船に対する奨励金を継続し、業界と一体となって漁船誘致や販売促進に努め、魚市場の水揚げ回復を図ってまいります。”と述べておられますが、メバチマグロに特化し過ぎではないでしょうか。

また、“漁港の今後の方向性を明確にし、機能を強化する。”ことや“仙台港と塩釜港が互いの役割を補完し、相乗効果による港湾の活性化を図ってまいります。”といったことが述べられておりますが、魚市場と塩釜港の今後の方向性はどうかをお聞かせ下さい。

③ 本町の今後について

今年は、本塩釜からマリングートまでの歩行者道路や駅前広場の整備が終わります。今後、マリングートから本塩釜周辺そして既に整備が済んだ塩竈街道までは賑わいを見せるものと期待をしております。

しかし、本町商店街についてはアパレル産業の本社が進出してはいるものの、どう見ても活気があるようには見えません。取り残されているように思いますが、市長の見解をお聞かせ下さい。

④ 市内の雇用促進について

“雇用不安が広がる中、国・県の制度を最大限に活用し市内での雇用促進と地域経済の活性化を図ってまいります。”と述べておられますが、国や県の制度を利用するだけではあまりにも消極的ではないでしょうか。市の独自の事業も必要な時ではないかと思いますがいかがでしょうか。

⑤ 防災について

地域の防災の拠点となるのが集会所です。この集会所のほとんどは木造であり老朽化しているように思いますが、耐震化の方法と予定についてお聞かせ下さい。

自主防災組織づくりを推進しておりますが、どのくらいの地区で結成されているのでしょうか。

また、北浜地区の津波・高潮対策ですが、“緑地護岸の早期完成を県に働きかけてまいります。”と述べておられますが、少し悠長ではないでしょうか。早急に進めるよう要望すべきではと思いますが、市長の見解をお聞かせ下さい。

⑥ 高齢者の福祉について

これからの高齢化社会を考えた場合、元気なお年寄りをつくるのが最も大切だと私は思います。そういった点で基礎体力の向上に努めることや介護予防を推進することは非常に大切なことだと思っております。

施政方針の中で“高齢者生きがい対策事業などとも連携しながら、地域社会に参加する機会を増やしてまいります。”と述べていますが、これは具体的にどういったことでしょうか。

⑦ 自殺防止対策について

施政方針の中で“依然として減少しない自ら命を絶とうとする方への対策にも取り組みます。”と述べておられますが、具体的にどういった取り組みなのかをお聞かせ下さい。

⑧ 市立病院の今後について

過日開催の全員協議会に於いて『塩竈市立病院改革と医療環境の現状』について、改革プラン評価委員長より講話をいただきました。

その時、私は最後に質問をさせていただき、今の市立病院の改革で最重要項目・ポイントは何でしょうか。とお聞きしましたところ、回答は『全的です。』とのことでした。

施政方針の中で“この4月からは、地方公営企業法を全部適用して、新たに事業管理者を置き経営意識を高めさらに改革を進めてまいります。”と述べておられますが、スムーズに全部適用へ移行できるのかが心配です。こういった方法で進められるのかお聞かせ下さい。

⑨ NEWしおナビ100円バスについて

たびたび一般質問に取り上げ、質問の中で「小松崎等のバス空白地を通れないか。」とか、「既設の路線と重複しない経路を通れないか」とか、色々と要望を出させていただきました。

このNEWしおナビ100円バス、今年2月より本格運行を開始しておりますが、こういった形で運行されたことは市民の皆さんは大変喜んで下さっているものと思います。

今後も市民の要望をお聞きし、より市民に愛されるバスとして進化するのが望ましいと思います。そう言った意味で、今後毎年バス停の位置や運行経路等の見直しをしていただきたい。

⑩ 学力向上について

ここ数年の学力調査を見ても、依然として学力の向上は図られていないように思います。もう「少人数指導」と「サマースクール」だけでは学力向上は望めないのではないのでしょうか。

⑪ バイオディーゼル燃料化事業について

自然エネルギーの導入や促進そして温暖化を考えた場合、素晴らしい事業であると思います。しかし、いくら立派な事業と言えども収支が赤字では推進や拡大は難しいのではないのでしょうか。

原料油は廃油を購入していると聞いておりますが、タダにはならないのでしょうか。また、コスト削減の取り組みはされているのでしょうか。

⑫ 市民活動について

施政方針の中で“市民活動につきましては、町内会役員の高齢化が進んでいることから、若年層の参加を促すような取り組みを進めるとともに、市民団体の活動を支援し、支えあう協働のまちづくりを進めてまいります。”と述べておられますが、

若年者の参加を促す取り組みとは具体的にどういうことでしょうか。

自主防災組織や地域防災体勢の観点からも町内会役員の若返りが不可欠であると思いますが。

⑬ 浦戸振興について

浦戸の振興については、交流人口の増加を述べておられますが、やはり定住人口の増加が大切であり、定住人口の増加に力を入れるべきではないかと思いますが市長の見解をお聞きします。



今年7月 ニュー市民クラブで苦小牧市の行政視察

2回目の質問

② 魚市場と塩釜港の方向性について

市民の食卓に上る魚は大衆魚がほとんどです。魚市場でも前浜もの(大衆魚)を少しでも推進をしていただき、経営を考えるとリスクを分散すべきではないかなと思います。やはりカツオ、マグロだけに特化するのには危険があると思います。リスク分散の意味からも宜しくお願いします。

③ 本町の今後について

シャッターオープン事業をここ3年間やられ、商人塾も開催されておりますが、効果が上がっているのか疑問です。商人塾についても予算が少ない、もっと力を入れて塩竈の本町を中心とするシャッター街を全部オープンにするという、そういった大きな施策が必要だと思います。

⑦ 自殺防止対策について

平成20年度で約3万2千人の方が自ら命を絶っている。これは結構身近な問題だと私は捉えております。防止策としては、市として相談窓口を設置するのが有効なようです。この相談窓口の設置をお願いします。

⑧ 市立病院の今後について

今回、公営企業法の全部適用に当たり、やはり

働いている人達の相互理解と病院改革に対する共通認識が持てるかどうか最大のポイントになるのではないかと私は考えております。あまり焦らず、スムーズな移行をお願いしたい。

⑩ 学力向上について

私は、教育が未来をつくる、社会を変えるというふうに思いますが、今回いろいろ施策が講じられているとは思いますが、そろそろ思い切った施策が必要なのではないかと考えています。

やはり市民ぐるみで子供たちを育てるんだという意識を持っていただいて、市民ぐるみで取り組むという、そういう方向性にもうそろそろ変える時期ではないかと思っておりますがいかがでしょうか。

⑫ 市民活動について

町内会長さんが実質自主防災の長になると考えておりますが、結構高齢化が進んでおります。現実平均寿命をもうはるかに上回っている会長さんもいらっしゃるようです。

緊急時、それも夜間等にきちんとした対応ができるものでしょうか。それは個人個人で違いがありますが、そういった一般的な懸念があります。

ある程度は市としてこの自主防災組織を進めるに当たっては、例えば会長さんは75歳以下とか、活性化を図る意味でも、会長さん等にはある程度の年数期限を設けるとかのガイドラインを設置できないものかと考えています。

そういったことで若者が町内会活動や市民活動に入ってくる機会も多くなり活性化するのではと考えておりますがいかがでしょうか。

⑬ 浦戸振興について

景勝松島がどうもこの浦戸振興の足かせになっているのではないかと私は思います。これについて、景勝松島の規制緩和の働きかけを今までやられているのか、やる予定なのか、そういったことは考えていないのかをお聞かせ下さい。規制緩和されれば、浦戸二小などもそういった福祉施設に転用できる可能性も出てくると思います。

3回目の質問

⑧ 市立病院の今後について

私は、今年早々に入院をしました。その病院ですが、看護師や職員の方々が物凄く親切でした。

細かなところまで気がついて、入院している方みんなが感心しておりました。市立病院の全部適用が、今後サービス低下につながらないように、くれぐれもご注意いただきたい。



平成22年6月議会での一般質問

① 市立病院について

塩竈市立病院は、今年4月より地方公営法を全部適用し、事業管理者を置き改革が進められておりますが、現在の状況をお聞かせ下さい。

特例債返済のため毎年、約7億円もの税金を投入しておりますが、税金納入者である市民は株主的存在です。市民は、何らかの優遇処置があつて当然ではないかと思っておりますがいかがでしょうか。

② 長期総合計画について

期総合計画は、今後の塩竈をどう創るのか。今後どう進むのか。今後10年間の指標になるものだと思います。

今年9月までに策定されるということですが、現在の状況と進め方についてお聞かせ下さい。

また、この長期総合計画に大きく関わってくるのが「人口問題」だと思います。現在、塩竈市の人口は減少傾向にあり、この人口減少とその対応についてお聞かせ下さい。

③ 市道の整備について

市内を見渡しますと宮町や本塩釜駅周辺の整備が進んだせいもあり、周辺部の道路の老朽化が目立ちます。建設後、かなりの年月が経過し、アスファルトの割れや陥没、そして側溝の浸食や風化が各所で見られます。

市道の整備計画はどうなっているのでしょうか。また、年間の整備予算はいくらでしょうか。

④ 市民農園について

最近、食の安全に対する意識が高まっており、有機農法や無農薬に拘わり栽培した野菜や果物がよく見かけるようになりました。

また、自宅の一角を畑にしたり、貸農園を利用して野菜作りを楽しんでおられる方をよく見かけます。土を耕し野菜を育て収穫すること、そして食することは何のものにも代えがたい喜びがあり、命をいただく感謝の気持ちや自然環境の大切さ知る機会にもなっております。

塩竈市として「市民農園」の開設についてはどう考えておられるのかお聞かせ下さい。

⑤ まちの教育力の向上について

私の一般質問は今回で10回目となりました。この10回全てで「市立病院関係」と「教育関係」について質問をしております。

今後、これ以上の学力向上を目指すには、学校だけでは限界があり、地域全体で町ぐるみで子供達を育てるといった考えが大切ではないかと思えます。市長の見解をお聞かせ下さい。

今年7月の二市三町議員連盟観光交通部会



2回目の質問

① 市立病院について

管理者(病院長)がリーダーシップをとって頑張っているんだなということをひしひしと感じておりました。ちょっと心配されるのは、今年4月、5月期の収支はどうなのか。それから労使関係についてはいかがでしょうか。やはり機器関係も大切なことですが、人間関係・労働関係が最も大切なことではないかと思えますが、如何でしょうか。

それから優遇措置なんですけど、市民に何とか還元する方法はないのでしょうか。

② 長期総合計画について

やはり人口が大きな要素になります。これを解

決しないことには元気ある塩竈を復活することは出来ないと思います。したがって、何らかの人口増加策を盛り込んだ形で進めなければいけないと思います。

例えば具体的に言えば市営住宅関係は、今かなり入居待ちが多いわけです。市営住宅を建設するとか、あるいは老朽化した市営住宅を新たに建て替えて少し戸数の多い高層化を図るとかそういったことで人がまず増えるのではないかと。

それから住民税も塩竈に転居してくる場合、何年間かは住民税を猶予するとか。

先ほども教育関係にも関わりますが、教育レベルのアップがこれまた大きな要素になり得るのではないかと思います。今、全国平均を上回る学校が出てきたといっても、中ほどからちょっと上ぐらいだろうと思います。県内でもトップクラスだとか、ないしは全国的にもかなり上位だとか、そういうことになれば若い人達が所帯を持って塩竈で子育てをしようという人達の転入も見込めるのでは。

それから他市町村にないような子育ての支援も必要ですし、ありきたりの支援ではなく塩竈独自の支援等が必要ではないでしょうか。

また、子供医療の助成ですか、こういった拡大も一つの施策になるのではないかと思いますので検討をお願いします。

③ 市道の整備について

市内各地をちょっと見回しますとかなり老朽化している道路が見受けられます。

特に伊保石の谷間に走っている道路部分ですがもう側溝がない。雨が降ると道路自体が川になってしまう。それに、その道路から自宅の庭に近隣からの雨水が入ってくる場所もあります。家庭毎に何らかの対策をとってはおりますが、本来こういったものは市で対策をとるべきもので、側溝をきちんと整備をすれば済むことだと思います。

こういった工事は小規模道路整備費になるのでしょうか。これが年間1,985万円、これはかなり少ないのではないのでしょうか。

この伊保石の場合、生活道路になっているわけですし、近隣にお住まいの方達の近道にもなっているようで大分通行量も多いそうです。まして冬場は凍結もして危ない状況です。

道路整備費を少しでも上げていただいて早急な整備をお願いしたい。

④ 市民農園について

塩竈市として市民農園を開いたら、先ほど市長さんが言われたようなメリットがかなりあって、市民に潤いもできるのではと思います。

市内の空き地を埋め立てたり、土盛りして畑に換えて、市民農園として貸し出しをするということも可能ではないかと考えています。

また、伊保石の方で個人的に市民農園をやられている方からお聞きしましたが、どうも税金を納入するのが大変で、農園を貸し出した料金が税金でなくなってしまうそうです。

こういった所を借り受けて、税金を免除して市で運営するという形であればやれるのかなと思いますが、いかがでしょうか。

⑤ 教育について

サマースクールとかいろんな施策が出ているわけですが、これは通年を通してのことでなく夏の一時期的なものです。

市全体が取り組んで将来を担う子供達を街ぐるみで育てるんだということが本当に求められている時期ではないかと思っています。

そんな意味で、ここは私や教育長だけが考えても進みません。やはり市長が決断されて塩竈市としては平成20年につくった学力向上プランこれを見直し、街ぐるみで取りかかる考えはないものかどうか、市長の見解をお聞きしたいと思います。

3 回目の質問

① 市立病院について

診療報酬から外れるもので、市立病院独自として融通がきくものがあるとお聞きしたような気がするんですが、その辺をお聞かせ下さい。

④ 市道の整備について

伊保石の件ですが、予算が少なければ2年計画とか3年計画とか分割して進めるとかそういう形がいいのではないかと思いますので、とりあえずは少しでも早い着手をお願いいたします。

※この箇所については、さっそく市で計画して頂きました。本年中には下側より工事に入り、数年計画で進めて頂けるようです。

市立病院について市民より手紙が

毎回、市立病院の質問をしているので市立病院をつぶす気なのかとかとよく言われますが、決してそうではなくて市民に慕われる健全な病院になっていただきたいという願いからいつも質問をしているわけです。ちょっと読ませていただきます。

『塩竈市立病院に感謝します。市立病院内科の佐野先生に看ていただいている患者です。

常に看ていただいている病気のほかに、頭が痛いことを話すと先生は、早速MRI検査をしていただき、結果は「未破裂動脈瘤」との診断でした。

直ぐに専門病院で詳細な検査を受けることを進め、患者の希望する病院に紹介状を書いていたが、専門病院に対しても迅速な行動をしていただきました。

専門病院での検査でも市立病院の佐野先生と同じ結果でその後、開頭手術を行いました。開頭手術の状況をお聞きしましたら、“いつ破裂してもおかしくない状況であった”とのことでした。

おかげさまで、手術後、身体にはなんの障害もなく元気になり、佐野先生が、第一に患者の身になって迅速な行動をしていただいた結果であったと深く感謝するとともに、塩竈市立病院に素晴らしい先生がおられることに感動いたしました。』



少林寺拳法塩竈道院入会者募集中

とっさの場合、頼りにできるのは自分だけ、護身術として少林寺拳法を初めてみませんか。

現在、3才児から大人まで楽しく稽古をしております。もちろん女性や高齢者の方も大歓迎です。

◎稽古会場 少林寺拳法専有道場(梅の宮)

◎稽古日 毎週火・木 午後6時半～9時まで

土 午後1時半～4時まで

◎問い合わせ 090-8921-3783(鎌田)